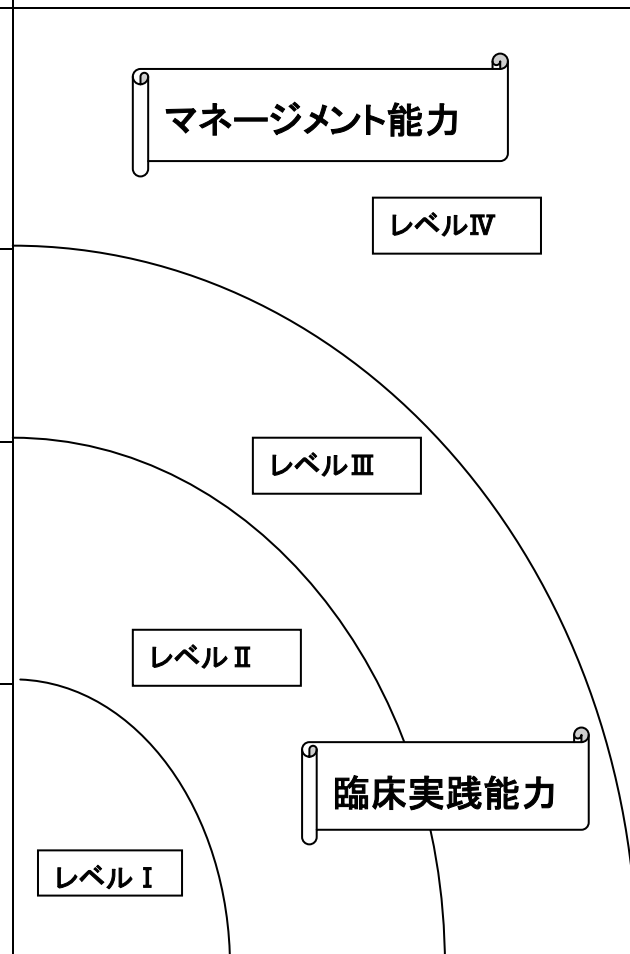


クリニカルラダー 教育プログラム

	到達目標	レベル別研修	看護部集合教育を土台に看護師が将来の目標 (キャリア開発)設定ができる教育計画 <ul style="list-style-type: none"> レベルⅠ～Ⅲは臨床実践能力の到達段階を示す レベルⅣはマネージメント能力を示す
レベルⅣ	<ul style="list-style-type: none"> 1・専門看護師として役割モデルとなり専門性を発揮できる 2・創造的な看護実践を展開できる 3・部署における課題を明確にし、目標を示しながら管理行動がとれる 4・部署における教育的役割がとれる 5・管理および専門看護分野における研究開発を行ない、変革の推進者となる 	管理の責任と理論／事例研究発表／専門知識(ガンマナイフ・内視鏡・褥創ケア・カウンセラー・感染・リスクマネジメント・救急看護など) ＊看護管理育成コース(ファースト・セカンド・サード) ＊専門看護師・認定看護師コース	 <p>The diagram shows a vertical ladder with four levels. Level I is at the bottom, Level II above it, Level III above that, and Level IV at the top. A box labeled '臨床実践能力' (Clinical Practice Ability) is positioned on the right side, spanning from Level I to Level III. A box labeled 'マネージメント能力' (Management Ability) is positioned on the right side, spanning from Level III to Level IV. Arched lines connect the boxes to their respective levels.</p>
レベルⅢ	<ul style="list-style-type: none"> 1・専門領域における看護実践のモデルになれる 2・あらゆる場面でのリーダーシップが発揮できる 3・後輩に対して指導的に関われる 4・看護研究を通して専門看護を深める 	プリセプター研修／看護研究／褥創ケア／ 脳外科術前術後研修／救命処置・BLS・ACLS など	
レベルⅡ	<ul style="list-style-type: none"> 1・状況に応じたリーダーシップが発揮できる 2・研修を看護実践に活かせる 3・看護過程をふまえた個別的なケアができる 4・担当看護師としての役割が発揮できる 5・課題を研究的に取り組むことができる 	看護研究／看護過程の展開／ チームナーシングにおけるリーダーの役割と機能／ 看護倫理など	
レベルⅠ	<ul style="list-style-type: none"> 1・部署の特殊性と業務内容を理解できる 2・指導のもとに、基本的な看護技術が実践できる 3・三校会の看護職員としての自覚をもち、早期に職場に適應できる 4・病院の設置目的、看護部の組織・理念・目標がわかる 5・看護に必要な知識について主体的に学習できる 	新入職オリエンテーション／看護者の基本的責務／ 接遇教育／コミュニケーションスキル／院内感染予防／ 事故防止／基本的看護技術チェックと演習／看護記録／ 看護計画立案と必要な看護技術／救急蘇生法／心電図についての基礎講習／ME 機器の取り扱い／ HBO についての研修／消防訓練など	